東愛知新聞
発行所：豊橋市新栄町鳥畷62番地
〒441-8666 南局私書箱8号
東愛知新聞社
TEL 0532-32-3111㈹
FAX0532-32-3737

呉服 岡田中屋

きょうの紙面

『渥美半島どんぶり街道』メニュー品評会。22品寄せられる⑪面

豊橋・豊川に「応援する会」⑪
災害時の応援協定締結 ②
蒲郡観光交流ウイーク特集 ⑥
認知症特集・順明会の学習療法 ⑫

東愛知新聞ホームページ
www.higashiaichi.co.jp

本社制定

特別社会賞に豊橋交響楽団

文化交流活動で地域貢献

社会賞はイマダなど9事業所

独自の技術開発や起業家精神

地域社会の各分野で貢献した人たちをたたえる、東愛知新聞社の第24回（平成20年度）「特別社会賞」「社会賞」の受賞者が決まった。特別社会賞には豊橋交響楽団（森下元康音楽監督）、社会賞はイマダ（豊橋市神野新田町、今田充洋社長）など9事業所が輝いた。表彰式は19日、豊橋市公会堂で開かれる本社主催の第33回豊橋歌謡選手権大会の席上行われる。

特別社会賞、社会賞を選んだ選考委員会
＝東愛知新聞社で

同賞は、1985（昭和60）年11月、紙齢1万号を記念して制定した。

特別社会賞の第1回受賞者は、献腎運動を全国レベルで展開した福井敏規氏（故人）。86年からは主に産業振興でガステックサービス、オーエスジー、ヤマサちくわ、武蔵精密工業、トヨテック、西島、アイセロ化学、ビオック、フォルクスワーゲングループジャパン、樹研工業、ニデック、トピー工業豊橋製造所、本多電子、トヨタ自動車田原工場、ラグーナ蒲郡、豊橋筆振興協同組合、豊橋日独協会など。個人では福井氏、国政で活躍した村田敬次郎氏（故人）と、愛知万博への献身的支援と献腎運動などの貢献から井澤一義氏。昨年度は豊橋地区日中友好協会だった。

また、「社会賞」は長年にわたって奉仕活動を続けてきた人など、毎年分野を定め、目立たないが地道な活動など繰り広げている個人、団体に贈るなどしてきた。

今年度の表彰方針は、特別社会賞が文化交流活動に貢献する団体・事業所、社会賞は1999年度から引き続き、独自の技術開発や起業家精神で事業展開している事業所・団体と決め、同賞選考委員会で、同賞の公正委員・神野信郎氏（豊橋商工会議所相談役）佐藤脩次氏（豊橋文化振興財団理事長）はじめ藤村圭吾本社社長、井上晴夫常務が、東三河の商工会議所・商工会などからの推薦を対象に厳正に審査した。

特別社会賞　豊橋交響楽団

全国学校音楽コンクールなどで日本一に輝いた、豊橋市立羽田中学校オーケストラ部の卒業生を中心に、昭和40年5月、現在の「豊橋交響楽団」の前身である「豊橋リードフィルハーモニー交響楽団」を創立。同年6月に第1回定期演奏会を豊橋市公会堂で開催。

定期演奏会と巡回コンサート両輪

以後、豊橋市における定期演奏会と愛知県内、特に東三河地域を中心とする巡回コンサートを活動の両輪として今日に至っている。

ちなみに現在までに定期演奏会は10

トは86回を数える。

創立6年目の昭和46年7月に、第1回目の東京公演を挙行。これがきっかけとなり、翌47年には全国から豊橋に23団体のオーケストラが集い、日本アマチュアオーケストラ連盟を設立。今日の社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟（147団加盟）

る。

以来、豊橋交響楽団が本部事務局を担うとともに、昨年（平成19年）12月からはNPO法人・世界アマチュアオーケストラ連盟の事務局も担当するところとなっている。

これまでに共演した指揮者、ソリストは極めて多彩。指揮者では秋山和慶氏、外山雄三氏、安永武一郎氏、西本智実氏、ヴァイオリニストで

ンフィル）、徳永二男氏、ピアニストでは花房晴美氏、山下洋輔氏、チェリストではゲオルク・ファウスト氏（ベルリンフィル）、向山佳絵子氏など、まさに世界を舞台に活躍するゲストとの共演は、豊橋交響楽団の成長に大きな影響を与えている。

今後も豊橋、東三河を中心に、一層地域に密着した活動を行うとともに、市民により身近なアマチュアオーケストラを

社会賞

イマダ（豊橋市神野新田町、今田充洋社長）

荷重測定器メーカー。現在、小型荷重測定器の販売台数は日本、東南アジアで第1位、米国では3位、欧州で5位。常により製品を提供したいという理念のもとに長年の研究開発により培った高度な技術をいかして作る製品群は、精度・耐久性・操作性などのすべての面で世界各国から高い評価と信頼を得ている。

サン電材社（豊橋市西幸町、八木達郎社長）

電気資材・機器の販売サービスから産業システム装置の設計・製作まで、メーカー商社としてニッチ分野のオンリーワン企業を目指す。地域産業の振興に貢献し、近年、革新的で独創性あふれる「ニードルローラーベアリング高速組立機」の開発で国や有名メーカーから高く評価されている。

エフエム豊橋（豊橋市藤沢町、藤村邦香社長）

全国3番目のコミュニティー放送局として平成5年11月に開局。以来、音声情報メディアとして多彩に展開し、豊かな街づくりに貢献。また、非常時に備え、豊橋市との専用回線を開設、地元に密着した「頼りになるラジオ」として、これまでも台風や竜巻災害の情報をタイムリーに放送してきた。

白惣（豊川市牛久保町、岩瀬淳一郎社長）

バット製造メーカーとして50年以上の実績があり、国内のシェアは約25%。職人のもつ伝統技術と革新的な新素材や新技術を融合させ、数々の製品を創出してきた。近年では特に工場のFA化を積極的に導入するとともに、若手職人の人材育成にも注力した経営を実践している。

加山興業（豊川市南千両2、加山昌弘社長）

東三河を中心に東海4県（愛知、岐阜、三重、静岡）のエリアで主に営業を展開、次世代のための環境保全を最大の責任と認識し、企業活動のあらゆる面で廃棄物の再資源化ならびに環境にやさしい処理技術の研究開発に努め、地域社会に貢献している。

サンペール（豊川市一宮町、近田邦満社長）

昭和55年、地域社会のニーズに応えて、結婚式事業をスタートした。日本一心遣いができる結婚式場を目指している。また、各種団体の会議、講演会またはコミュニティー活動などの場としても広く利用してもらえるよう事業展開をしている。

蒲郡製作所（蒲郡市御幸町、伊藤智啓社長）

半世紀にわたり、一貫して多品種少量の高精度部品加工を展開。フライス、旋盤、研削、ワイヤー放電などの最先端工作機械を駆使し、アルミ・黄銅・樹脂の微細・精密サプライズを得意としている。時代の夢を形にするお手伝いで社会に貢献していくことをモットーとしている。

マルヤス（新城市杉山、今泉保二社長）

日本全国の、土産菓子を製造。小ロット他品目生産をモットーに全国110社の問屋と取引、特に各地域ごとの特産品を使った商品や特色をアピールする商品にこだわって製造している。90%以上の商品が、オリジナル商品。有名観光地お土産のウルトラマンせんべいは人気商品

大陽社印刷所（田原市神戸町、仲谷修社長）

活版（活字）印刷からスタート後、時代にあったオフセット、フォーム印刷、その後デジタル化などに進み、

高品質、高付加印刷
力点を置き、営業も
域のお客とのコミュ
ケーションを大事に
る経営手法を推進。
た、環境に優しい
料と廃棄物処理な
行っている。

第1回投稿賞に井澤氏

本社制定

東愛知新聞社では社会賞に続き、今年度から本紙に優れた投稿をした方に投稿賞を制定することにしました。

第1回は「罪深いアメリカのサブプライムローン問題」「歴史をしっかり捉えて民族の誇りを取り戻そう」などから、井澤一義氏（井澤医院名誉院長）に決定しました。社会賞の表彰前に記念品を贈呈します。

システムで競う時代
パソコントラブル解決!!
サポートはお任せ♪♪
株式会社 地球屋　豊橋 0532-53-8551
www.chikyu.com　info@chikyu.com
地球屋クラブ www.chikyu.com/club/

【本社来訪】松尾雅
（新城警察署長）▽伊
雄氏（同署警備課長）
藤生誼氏（伊藤民謡会
▽福井道子さん（東愛
園友の会会長）▽澤田
氏（同副会長）▽森下
氏（同）▽村松道之氏
幹事）▽倉橋健二氏（
事）▽奥村力氏（同会
▽内藤久美子さん（東
商工観光係長）▽佐々
浩氏（同主事）▽中村
氏（豊橋信用金庫総合
部次長）

今古東西

「世
料理が
い国と
ば中国
ランス
ちらに
を挙げるかは好み
るな」。外国航路
の機関長だった父
よく聞かされたも
▼その中国の食材
本で引っぱりだこ
た。だが今年1月
国「天洋食品」製の
ギョーザを食べた
の3家族10人が中
状を起こしてから
情が一変した。日
未開封のギョーザ
農薬成分メタミド
が検出され、中国
一部輸出禁止措置
って、スーパース
の中国産食品は激
た▼中国側は当初
国国内での混入を
なかったが、7月
海道・洞爺湖サミ
中に中国国内での
事件を認めた。な